

アニメで学ぶQC7つ道具～Part1～

本学習コースの狙い

QC7つ道具は、品質改善を行う際、非常に有効なツールです。基本となる手法を知っておくことで、よりの確に分析することができます。目的に合わせて、実務でQC7つ道具を活用するために必要な基礎知識について学びます。

QC7つ道具の概要

QC7つ道具とは、仕事のプロセスから得られる品質特性等のデータを解析し、問題解決を行うために活用する手法

QC = Quality Control (品質管理)
+
7つ道具

弁慶の7つ道具
・熊手 ・大のこぎり
・大槌 ・まさかり
・つく棒 ・さすまた
・もじり

品質管理や品質改善に使える
7種類の強力な解析ツール
品質管理や品質改善に使える

受講対象者：生産部門、間接部門全般
(一般／中堅)

eラーニング学習画面 イメージ



カリキュラム

☑ 動画再生時間：45分 ☑ 想定学習時間：約1時間42分
教材の構成：動画コンテンツ5ヶ、理解度確認テスト 各章5問、総合テスト 全20問

① QC7つ道具とは

数値データは、集めただけでは
ただの数字であり、何の役割も果たさない

目的
✓ OOについて、問題を掴みたい！
✓ OOについて、傾向を知りたい！ etc.

手段
「手段」として

9:29

② パレートの図

不良を要因別に分類した例

不良数 N=100

累積比率 85%

不良全体の中でキズが85% → 重点的に対策すべき！

各項目の影響度が一目で分かる
重要な問題を数値で特定できる
★“重点指向”ツール

9:58

③ 特性要因図（作成手順）

三人寄れば文殊の知恵
特性要因図は、1人ではなく、なるべく関係職種全員が参加して作成する

ブレインストーミング（ブレスト）
✓ アレックス・オズボーンが考案した創造性発想のための手法
✓ 複数人で集まり、テーマに関して既成概念にとらわれないアイデアを出し合う

7:56

④ 特性要因図（ポイント）

特性要因図の作成手順

- 1 特性を決め、特性と背景を書く
- 2 要因の切り口を決め、大骨を書く
- 3 中骨、小骨、細骨を書く
- 4 要因を選定し、幸れで囲む
- 5 要因の特定、効果確認、次の要因の選定
- 6 必要事項の記入
- 7 効果の加減、問題点のツール上

「4M+E」がよく用いられると

8:08

⑤ グラフ

グラフ

- ✓ 2つ以上のデータの相対的関係を面で表したもの
- ✓ 全体の姿や関係性を視覚的に分かりやすくする手法

どこのグラフを使えば伝えたいことが的確に伝わるのか？
どのように表現すれば正しい姿を可視化できるのか？

どっちと目的を考えたら使い分けられるようになる！
使い分けられるようになります

8:31

※ 理解度確認テストは各章毎に設定されており、最後の総合テストでは全動画の中からランダムに出題されます。



カイゼンベース株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-25
TEL：03-6368-5620 FAX：03-4586-7148
お問い合わせ：info@kaizen-base.com

お申し込みはWEBサイトから！
<https://kaizen-base.com/e-learning/>

